

「わらすっこ議会」

～遠野のわらすっこ 未来を語る～

2月22日
開催

令和元年度は「遠野市わらすっこ条例」制定10周年の節目の年。「わらすっこ会議」を通して市の子育て支援について学んできたわらすっこ支援委員14名が、取り組みの発表の場と位置付け、わらすっこ議員となり、この模擬議会に臨みました。

わらすっこたちは、「遠野の未来を創造してみよう～私の夢と希望～」と題し、堂々と意見発表を行いました。

意見発表終了後には、わらすっこ議員から発議案第1号「わらすっこの夢と希望のために遠野市全体で応援するまちづくり宣言」が提出され、全会一致で採択されました。



わらすっこ議員

- | | |
|--------|-------|
| 荒矢 悠希 | 多田 憂志 |
| 小原 千慧 | 阿部 琉也 |
| 仲宗根 千尋 | 新田 隼斗 |
| 遠藤 淳生 | 菊池 翼 |
| 佐々木 美佳 | 菊池 稜真 |
| 佐々木 彪希 | 菊池 早姫 |
| 多田 蒼人 | 菊池 夢乃 |



わらすっこ議会の会議録は、遠野市ホームページでご覧いただけます

風の丘進入路整備で 地区説明は

市長：…市民合意の必要がある

問……………

風の丘進入路整備に伴い市道愛宕根岸線につながる若宮2号線を管理する市の対応は。

答(市長)……………

国道渋滞で周辺住民や風の丘利用者以外の道路利用者の通行に支障をきたしてきた。新たに入退出路を設け、渋滞緩和を図り、通行の確保とサービス提供するため既存市道の付

替えをする必要があった。

問……………

市道路線の変更に係る地域との意見調整はどのように図られてきたのか。

答(市長)……………

事業用地に係る地権者や周辺住民、風の丘関係者等を中心に説明したが、今回の道路整備については、もう少し範囲を広げて説明す



風の丘進入路整備により市道が切り替えとなった

問……………
べきだった。
次の世代につなげる住み良い環境づくりはどう反映されたのか。

答(市長)……………

地域づくりは住民が主役だが、道路等は裁量に限界があり、市が自由に決められない。「公正」、「公平」、「透明」の信条に照らし、市民周知、市民合意に努めなければならない。

公共施設維持管理経費の 市民負担に対する認識は

市長：…長期的視点と効率化で経費削減を

問……………

市施設の維持管理に係る経費の見込みは。

答(市長)……………

事業と財政運営のバランスを図って、維持管理費を含めた経費の削減に努めている。施設整備完成後の維持管

理費は、設計や管理運営方法を検討し、財政計画に反映させる。

問……………

施設整備は総合計画と整合性が図られているのか。

答(市長)……………

実施すべき事業の優先順位を定め計画が策定され、施策と整合は図られている。

問……………

施設に対する将来の市民負担をどのように認識しているのか。

答(市長)……………

公共施設維持管理費の多くが税金で賄われている。約4割の施設が築30年を超えてお

り、今後、維持管理、改修、更新等の費用増加が見込まれる。

施設の適正な規模などの見直しを計画的に実施する。また、管理運営の効率化を図ることとで経費削減に努める。

問……………

鱒沢地区センター整備に新たな計画が財政的影響しないか。

答(市長)……………

鱒沢地区センターの持続可能なコミュニケーションを見出すべく、多目的ニーズに応える施設を考えている。地域住民の想いを重く受け止め、冷静な判断も必要であることを理解いただきたい。